

# 中原通信



文責 増永 善久



## 6月は「心のきずなを深める月間」です

近年は、全国的に「いじめ」のニュースがよく取り上げられています。熊本県では、6月を「心のきずなを深める月間」と定め、学校・家庭等の連携のもと、お互いに心のきずなを深め、いじめを許さない学校・学級づくりを目指して、いじめの未然防止に重点を置いた取組が行われています。

以前聞きたいじめ防止の講話の中で、いじめるとは、「本人が嫌がることをしたり、言ったりする」「悪口を言う」「失敗や人と違うことをばかにする、からかう、ひやかす、笑う」「無視する」「仲間はずれにする」「嫌なことを無理やりやらせる」その他にもあると思いますが、このような行動を具体的に示されました。最近では、SNSやインターネットのゲームなどでも、いじめが起きています。子どもたちばかりではありませんが、なぜいじめが起きるのでしょうか。いじめが起きてしまう要因として、「自分は大切にされている」「自分は友だちや周囲の人の役に立っている」という子ども自身の自尊感情や自己肯定感・自己有用感などのプラスの感覚が小さくなってしまったことがひとつの要因としてあるのではないかと私は思っています。本校では、保護者・地域と連携し、自尊感情や自己肯定感を育む、自然体験や地域との関わりなど、本物に触れる機会や感動を共有できる機会をつくっていただいています。本当にありがたいことです。これからも保護者・地域との連携を大切にしていきたいと思えます。また、学校でも人権集会をはじめ、「心のきずな」を深める取組を進めています。

令和5年度の県の「心のアンケート」の結果によると「いじめられたことをだれかに話しましたか」の質問に「話をした」と回答した小学生は72.0%で、小学生の約3割が「話をしていない」と回答していました。いじめにあってもだれにも相談できない子どもたちがいます。何かあった時は、「まわりに相談することの大切さ」を子どもたちに話しています。ご家庭でも、このことについて話す機会を持っていただけたら幸いです。



人権集会

## 学校の行事から

### ◎修学旅行

町内3小学校の連合で、6年生が5月末に1泊2日の日程で、長崎へ修学旅行に行きました。1日目が平和学習、2日目がハウステンボスでの各学校の班別自由行動でした。1日目の平和学習のひとつである被爆された語り部さんからの講話では、原爆の被害についての話や命について考えてほしい話などがあり、平和について考える良い機会になりました。2日目は、ハウステンボス内を自分たちで相談しながら自主的に行動することを楽しんでいました。2日間とも活動する時間はほとんど雨が降らず、充実した修学旅行になりました。



平和公園での学習

### ◎SNS講話

小国警察署の方と赤馬場駐在所の中川さんを講師に迎え、6月9日のふれあい日曜学校の時にSNS講話を行っていただきました。私自身も中学校に勤務していたとき「SNSで仲間外しをする」「SNSで悪口を言う」「SNSで自分や他人の写真・個人情報などを流出させる」「SNSで知り合った今まで面識のない人に会う」などの問題に、実際に対応したことがあります。SNSの問題は、家族や学校ではわかりにくいところがあり、問題が大きくなってわかる場合が多かったです。夏休みも近づいています。今回の講話を参考にSNSの利用について、再度、ご家庭で話す機会を持っていただければと思います。また、SNSをはじめ、お子さまのことで何か気になることがありましたら、遠慮なく学校にご連絡ください。

### ◎麦刈り

6月14日にナカバルツクル会のみなさんや井芹前校長先生のご指導のもと、1・2年生で麦刈りを行いました。本物に触れる機会を大切にしたいと前回の学校だよりに書きましたが、私自身、麦刈りは初めての経験でとても貴重な機会になりました。今年は昨年より、穂のつきがいいとのことですので、ナカバルツクル会のみなさんの協力のもと、これからどのように麦を加工していくかを楽しみにしています。



麦刈り

※6月9日のふれあい日曜学校に来校していただきありがとうございました。また、SNS講話後の親子ふれあい作業お世話になりました。学校の環境がまたたくまに良くなりました。本当に助かりました。